

【教育活動の名称】 チーム湖西中学校での生徒の「成長と感動」を生み出す

【副題】

【学校名】

高島市立湖西中学校

1 本校の概要

本校は、「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」を目標に掲げ、豊かな心、確かな学力、健やかな身体を育むことを重点に教育活動を展開している。そのなかでも、生徒の居場所づくりを最優先課題として安心安全な学校づくりを進めている。学級をはじめ学年、学校全体、学習の場、部活動などあらゆる場で互いを認め合い支え合う集団づくりを行う中で、みんなで取り組むことよさや喜びを体感させたいと考えている。

また、学校運営協議会とむくげの花の会の一体的推進により、地域のひと・もの・ことを教育活動に関連させ、体験や人とのふれあいを重視した学習活動を行っている。地域のことを知ることで、地域の人とふれあうことで、高島という地域に愛着を持った生徒の育成を図っている。

2 取り組んだ内容

(1) 外部コーチの招聘

本校のバレー部は、3年生が引退後、2年生6名、1年生3名と人数はずいぶん減ったが、小学校よりクラブチームで経験している生徒が多く、現在もクラブチームの練習と部活動を両立している生徒がいる。チームの目標もブロック大会だけでなく、県大会上位を目指して頑張りたいと思っている。残念ながら本校職員にバレーボール経験者がいないため、新チームになってから生徒たちの思いもくみ取って、外部コーチを招いて練習を見てもらっている。部活動のない日のトレーニング方法や限られた時間の中での練習方法など、部活動の時間に合わせて練習メニューを考えてもらって取り組んでいる。レシーブからの攻撃練習はコーチ自らボールを出して相手をしていただいている。また、個々の長所を活かしてのチーム作りや戦術など細かい点まで指導いただいている。

(2) 実践的な練習

チームの人数が少ないこともあり、なかなか6人でのチーム練習ができないため、できるだけ定期的に練習試合に行ったり、いろいろな大会に参加したりして

練習したことを試合の中で実践できるようにしている。地理的なこともあり、なかなか遠くまで出向くことができないので、毎年行われる井上杯や年数回実施して下さる湖西杯は、普段対戦できないような学校とも試合ができるためよい機会だと捉えている。

普段の練習の成果を実際の試合で試してみて、新たな課題を発見したり、自分たちでゲームを作ったりするのにも大変貴重な場となっている。



3 活動の成果

以前は、単に今もっている全力でプレイをすればよいという感じでバレーボールを行っていたが、より力強く、より速くするためには体力づくりや体幹づくりも大事であることから筋トレにもしっかりと取り組むようになり、一人ひとりが力をつけてきている。

チームとしての戦術も少しずつ教えてもらってできるようになり、キャプテン一人に頼るようなプレイからみんなで点を



積み上げていけるプレイへと変わってきたことで、声を掛け合う場面も多くなってきた。コーチに注意され涙ぐむこともあるが、次はこうしていこうと話し合っ自分たちで考えることも出てきた。まだまだ力不足の部分やメンタル面での弱さもあるが、念願のユニフォームを新調してもらい、気持ちも新たにチーム一丸となって頑張ろうと日々の練習に取り組んでいる。